

インフルエンザ予防接種を受けましょう

インフルエンザ予防接種が始まります。インフルエンザの最も有効な予防方法は流行が始まる前に予防接種を受けることです。予防接種によって重篤な合併症や死亡を予防し、健康被害を最小限にとどめることが期待できますので、特に高齢者や基礎疾患がある方は、かかりつけ医と相談の上、予防接種を受けましょう。詳しくは医療機関にお問い合わせください。(詳細は次ページに掲載しました。)

発生動向の概況

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎が増加傾向です。西条地区での多発は収まりましたが、県下全域、特に八幡浜地区で増加傾向です。この疾患は年間を通じて患者がみられますが、特に春から初夏、秋から冬にかけて患者発生が多くなります。発熱と全身倦怠感、咽頭痛などの症状があり、しばしば嘔吐を伴うことがあります。うがい等の感染予防を励行してください。

感染性胃腸炎が中予を中心に増加しています。この疾患は、細菌やウイルスなどの感染性病原体により嘔吐や下痢を引き起し、例年秋から冬にかけて流行します。乳児や高齢者などの抵抗力の弱い方が感染すると重症化する場合がありますので、食品の取り扱いに注意し、手洗いを心がけてください。

手足口病は横ばいで推移しています。四国中央地区の多発は終息したようですが、中予、西条地区で散発しています。今後の動向に注意し、手洗い・うがい等の感染予防に努めてください。

流行性角結膜炎は増加傾向です。中予及び今治、八幡浜地区で多発しています。流行性耳下腺炎は四国中央地区の流行が収まり減少しました。マイコプラズマ肺炎は散発しています。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症 二類感染症 : 細菌性赤痢 1例(海外での感染)
三類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 2例(全てO157)
五類感染症 : ウイルス性肝炎 1例(B型)

定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載)

	愛媛県推移	県内の傾向
A 群溶レン菌咽頭炎	1.1	西条地区の多発は収まったが、八幡浜地区で増加傾向。
感染性胃腸炎	4.9	例年に比べて多発傾向。特に西条地区及び中予で多発している。
手足口病	0.6	横ばいで推移。四国中央地区の多発は終息した。
流行性角結膜炎	5.9	増加傾向。中予及び今治、八幡浜地区で多発。

解析評価委員のコメントから

感染性胃腸炎 : 増加しています。症状としては嘔吐が中心ですが、軽症例が多いようです。(中予)

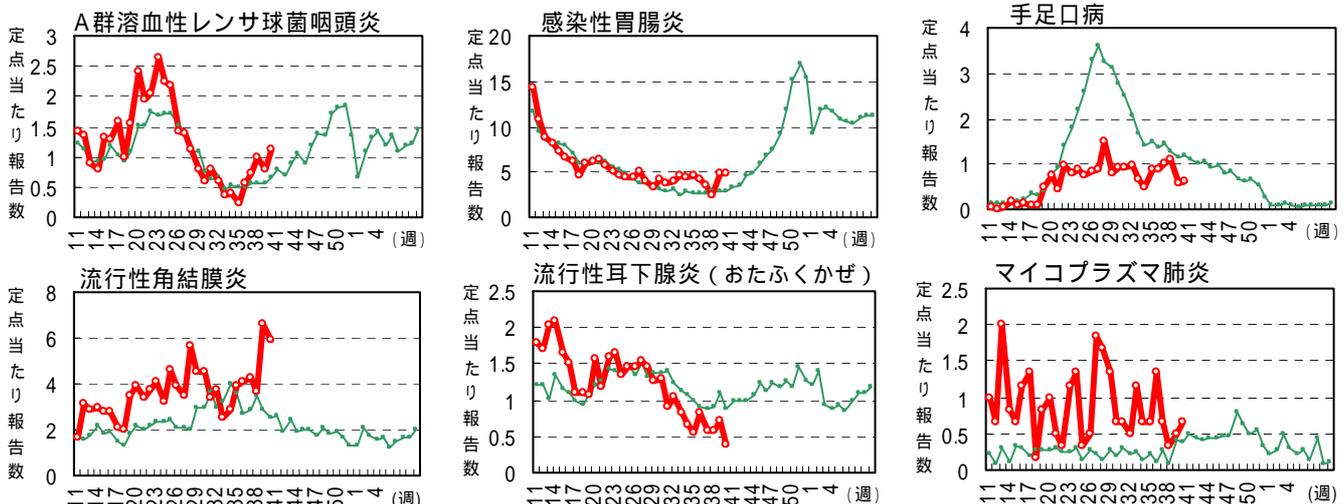
マイコプラズマ肺炎 : 肺炎には至っていないのですが、マイコプラズマの抗体価が上昇する例が少なくありません。

(中予)

散発。当科でもマイコプラズマはやっと減り、現在は一人入院しているに過ぎなくなりました。

(南予)

過去30週の動向 ( : 過去30週の動向、  : 過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
本感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.jp までお願い致します。

インフルエンザ予防接種を受けましょう

インフルエンザは毎年流行するウイルスの抗原型が変異し、大きな患者発生を引き起こすことが知られています。昨シーズンの後半には、愛媛県を含め全国でも B 型インフルエンザが流行しましたが、そのウイルス型はここ数年流行していた山形系統からビクトリア系統に代わっていることがわかっています。そのため、今シーズンのワクチンにはこのビクトリア系統株も選択されています。

予防接種を受けてから効果が現れるまでに 2 週間ほどかかりますので、流行が始まる前に予防接種を受けましょう。詳細は医療機関にお問い合わせください。

病原体検出情報

手足口病患者数は、流行期に入って以降定点あたり 0.5～1 の報告で推移し、小規模ながら流行が持続しています。第 35・36 週の東予地区の手足口病 2 例について、現在検査中です。

第 37 週に、松山市地区の検体から RS ウイルスが検出されていますが、今後このウイルスの流行期となりますので、特に 2 歳未満の乳幼児の感染には、注意が必要です。38・39 週には検体数が数件に減少していましたが、40 週に入って下気道炎を筆頭に発疹症、熱性疾患、無菌性髄膜炎など検体数が増えています。

第 39 週に報告のあったインフルエンザ患者 2 例は、38 週報告の 2 例の関係者とみられ、今のところそれ以上の感染拡大はみられていません。近県では、広島県で B 型インフルエンザの小流行があり、B 型ウイルス 2 株の分離報告がされています。また、兵庫県で A 香港型 1 株の検出報告（37 週）がありました。しかし、まだ流行が始まったという状況ではありません。

感染性胃腸炎患者は、このところ 2 週で増加し、例年より多い報告数となっています。定点の検体からは、ノロウイルス（G2）が検出されています。第 37 週に宇和島地区で血液・糞便から検出されたサルモネラの血清型は O7（SOranienburg）でした。

流行性角結膜炎の患者数が急増していますが、定点からの検体は搬入されておりません。

過去 5 週 検出病原体

(9月4日以降採取検体)

週	期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
36	9/4～9/10	松山市	A 群溶レン菌咽頭炎	A 群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1
			感染性胃腸炎	アデノ	糞便	1
			発疹症・不明発疹症	エコー 5	咽頭ぬぐい液	1
37	9/11～9/17	松山市	A 群溶レン菌咽頭炎	A 群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1
			下気道炎	RS	咽頭ぬぐい液	1
		宇和島	感染性胃腸炎	サルモネラ O7	血液・糞便	1
39	9/25～10/1	松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	1

月別病原体検出結果

臨床診断名別検出結果 (2006年7月以降採取検体)

検出病原体	検体採取月							合計
	4	5	6	7	8	9		
ウイルス								
コクサッキーA2		3	2	3	1			9
コクサッキーA4	1	3	12		1			17
コクサッキーA9		1			1	1		3
コクサッキーA10		2	1					3
エコー 5			2	1	1	1		5
ポリオ 1		1						1
ポリオ 2		1						1
エンテロ 71		1	1	2				4
インフルAソ連	3							3
インフルB	7	5	2					14
パラインフル3		1						1
RS					3	1		4
ムンプス	2	2	1	1	1			7
ロタ	6	1		1				8
アストロ	3	2				1		6
ノロ	1	1	3	1		1		7
サボ	2			1				3
アデノ					1	1		2
アデノ 2	2							2
アデノ 3	3	2	6	1				12
アデノ 5				1				1
アデノ 6	2							2
単純ヘルペス 1			2	3	2			7
ウイルス計	32	26	32	15	11	6		122
細菌								
下痢原性大腸菌					2			2
サルモネラ O7						1		1
カンピロバクター				1	1			2
A 群溶レン菌	1	1	1	1		2		6
細菌計	1	1	1	2	3	3		11

検出病原体	A 群溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	下気道炎	上気道炎	不明熱	発疹症・不明発疹症	その他	合計
コクサッキーA2				4							4
コクサッキーA4								1			1
コクサッキーA9								1		1	2
エコー 5							1		2		3
エンテロ 71			2								2
RS						2	2				4
ムンプス					2						2
ロタ		1									1
アストロ										1	1
ノロ		2									2
サボ		1									1
アデノ		2									2
アデノ 3								1			1
アデノ 5								1			1
単純ヘルペス 1			1	2			2				5
ウイルス計		6	3	6	2	2	5	4	2	2	32
下痢原性大腸菌		2									2
サルモネラ O7		1									1
カンピロバクター		2									2
A 群溶レン菌	3										3
細菌計	3	5									8

愛媛県 定点把握五類感染症 2006年 第40週 (2006.10.2 ~ 10.8)

患者報告数	インフルエンザ	小児科定点											眼科定点		基幹定点					成人麻しん		
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
四国中央				4	5	5	4		3			1	3	-	-							四国中央
西条				2	32	1	7	1	8				2		1			1	2			西条
今治				6	11			2	5				1		12							今治
松山市	4	2	11	95	11	10	3	11			3	2		9	-	-	-	-	-	-		松山市
松山		1	8	25		1		10				1		9								松山
八幡浜			11	12	4		1	8				5		16				2				八幡浜
宇和島				1	1		1	3														宇和島
愛媛県	4	3	42	181	21	23	7	48			4	14		47			1	4				愛媛県
1週前	2	2	4	29	178	19	21	6	42	1		6	26	53				3				1週前
2週前	2		2	37	92	30	41	4	35			7	21	29				2				2週前
3週前	3	13	27	127	33	38	13	44			12	21	34					4				3週前
0-5ヶ月				2	2			3						1								0
6-11ヶ月	1			19	1	1		31									1	1				1-4
1	3	1		30	4	5		12			2		2	2				2				5-9
2			4	29	6	11		1						4								10-14
3			3	16	3	3	1				1		2	2								15-19
4		2	8	19	3	2	2						2	2								20-24
5			10	14	1		2	1					2	2								25-29
6			8	17			1				1		1	1								30-34
7			3	9		1							1	1								35-39
8			3	5	1								3	3								40-44
9			2	6			1						1	1				1				45-49
10-14			1	11									2									50-54
15-19				1										1								55-59
20-29 ⁵⁾				3										8								60-64
30-39														9								65-69
40-49														3								70-
50-59														5								
60-69														6								
70-79 ⁶⁾														5								
80-																						

定点当たり報告数

四国中央			1.3	1.7	1.7	1.3		1.0			.3	1.0	-	-								四国中央
西条			.3	5.3	.2	1.2	.2	1.3				.3		1.0			1.0	2.0				西条
今治			1.2	2.2		.4	1.0					.2		12.0								今治
松山市	.4	.2	1.0	8.6	1.0	.9	.3	1.0			.3	.2		3.0	-	-	-	-	-			松山市
松山		.3	2.0	6.3		.3		2.5				.3		9.0								松山
八幡浜			2.8	3.0	1.0		.3	2.0				1.3		16.0				2.0				八幡浜
宇和島				.3		.3		.8														宇和島
愛媛県	.1	.1	1.1	4.9	.6	.6	.2	1.3			.1	.4		5.9			.2	.7				愛媛県

- 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は10月11日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2006年 第 39 週 (2006.9.25 ~ 10.1)

患者報告数	インフルエンザ	小児科定点											眼科定点		基幹定点					成人麻しん		
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
保健所別	四国中央			1	20	1		3					3	-	-						四国中央	
	西条			2	45	2	2	4				4	4								西条	
	今治		1	2	18	1	1	8				1	1		6						今治	
	松山市	2	3	14	63	11	15	3	18	1			10		21	-	-	-	-	-	松山市	
	松山			2	25	1	3	7					4		8						松山	
	八幡浜	2		5	6	3		1	1				3		18			2			八幡浜	
	宇和島			3	1			1	1			1	1					1			宇和島	
週推移	愛媛県	2	2	4	29	178	19	21	6	42	1	6	26		53			3			愛媛県	
	1週前	2		2	37	92	30	41	4	35		7	21		29			2			1週前	
	2週前		3	13	27	127	33	38	13	44		12	21		34			4			2週前	
	3週前			11	21	152	24	33	17	51		17	30		33			8			3週前	
年齢別	0-5ヶ月				4										1						0	
	6-11ヶ月				19	1	1	1	30	1		1						1			1-4	
	1			3	31	6	5		12			2			2			1			5-9	
	2				21	4	6					1			2			1			10-14	
	3	1		3	17	3	3	2			2		6		1						15-19	
	4	1		5	15	1	2	1					6		2						20-24	
	5		1	7	14	3	1	1					4		1						25-29	
	6			6	10	1							1		1						30-34	
	7			3	9		1	1					2		1						35-39	
	8			1	7		1						3								40-44	
	9				12				1												45-49	
	10-14				3	14		1						2	2						50-54	
	15-19				1	1								1								55-59
	20-29 ⁵⁾	1			4										12						60-64	
	30-39														7							65-69
40-49														2							70-	
50-59	1													9								
60-69														6								
70-79 ⁶⁾														4								
80-																						

定点当たり報告数

保健所別	四国中央			.3	6.7	.3		1.0					1.0	-	-						四国中央
	西条			.3	7.5	.3	.3	.7				.7	.7								西条
	今治		.2	.4	3.6	.2	.2	1.6				.2	.2		6.0						今治
	松山市	.2	.3	1.3	5.7	1.0	1.4	.3	1.6	.1			.9		7.0	-	-	-	-	-	松山市
	松山			.5	6.3	.3	.8	1.8					1.0		8.0						松山
	八幡浜	.3		1.3	1.5	.8		.3	.3				.8		18.0			2.0			八幡浜
	宇和島			.8	.3			.3				.3	.3					1.0			宇和島
	愛媛県	.0	.1	.1	.8	4.8	.5	.6	.2	1.1	.0	.2	.7		6.6			.5			愛媛県

- 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は10月4日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症（月報） 2006年9月

患者報告数		STD定点									基幹定点						
		染性器クラミジア感			ル性器ヘルペスウイ			尖圭コンジローマ			淋菌感染症				ドメチンリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
		総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性				
保健所別	四国中央	2	2		2	1	1	1	1		1	1		1			四国中央
	西条	1		1							1	1		1			西条
	今治	3	3								1	1		2			今治
	松山市	15	1	14	4		4	3		3				-		-	松山市
	松山	2	2		2	2					3	3		1			松山
月推移	八幡浜										2	2					八幡浜
	宇和島				1	1								12			宇和島
	愛媛県	23	8	15	9	4	5	4	1	3	8	8		17			愛媛県
	1月前	17	6	11	13	4	9	6	1	5	10	9	1	15			1月前
	2月前	13	3	10	9	5	4	9	2	7	16	12	4	14			2月前
3月前	21	8	13	10	1	9	4	1	3	9	9		16		1	3月前	
年齢別	0																0
	1-4																1-4
	5-9																5-9
	10-14													1			10-14
	15-19	1		1	1		1										15-19
	20-24	7	3	4	1		1	2		2	5	5					20-24
	25-29	8	3	5	2		2	1	1		1	1					25-29
	30-34	3	2	1	1	1					1	1		1			30-34
	35-39	3		3							1	1		1			35-39
	40-44	1		1													40-44
	45-49				1	1											45-49
	50-54																50-54
	55-59				2	1	1										55-59
	60-64							1		1							60-64
	65-69													3			65-69
70-				1	1								11			70-	

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	2.0	2.0		2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		1.0			四国中央	
	西条	.5		.5						.5	.5		1.0			西条	
	今治	3.0	3.0								1.0	1.0		2.0			今治
	松山市	3.8	.3	3.5	1.0		1.0	.8		.8				-		-	松山市
	松山	2.0	2.0		2.0	2.0					3.0	3.0		1.0			松山
愛媛県	八幡浜									2.0	2.0						八幡浜
	宇和島				1.0	1.0							12.0				宇和島
愛媛県		2.1	.7	1.4	.8	.4	.5	.4	.1	.3	.7	.7	2.8				愛媛県

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
S T D 定 点	11	1	2	1	4	1	1	1
基 幹 定 点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は10月6日集計分であり、その後の報告は翌月以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 第37、38週 (2006.9.11 ~ 9.24)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん
37週	愛媛県	.1	.4	.7	3.4	.9	1.0	.4	1.1	.1	.3	.6	4.3			.7						
	近畿県	香川県		.4	.3	2.6	.5	.3	.1	.8		.1	1.1	2.0								
		徳島県	.1	.6	.8	1.6	.7	.2	1.1	.6		.4	1.2	.3								
		高知県		1.3	.4	1.9	.6	1.2	.1	.8	.0	.4	.9	1.0					.3			
	全国	.0	.0	.6	.7	2.9	.5	1.1	.2	.8	.0	.0	1.1	.0	1.1	.0	.1	.3	.0			
	北海道	.0	.4	1.5	1.2	.5	2.0	.1	.7		1.1	.0	.9	.0	.5			.0				
	東北	.0	.4	.9	2.3	.5	.8	.2	.7	.0	.7	.0	1.0	.0	.7		.0	.4	.0			
	関東	.0	.4	.8	2.3	.4	.9	.3	.9	.0	.3	.7	.0	1.3	.0	.1	.4	.0				
	甲信越北陸	.0	.9	.7	2.9	.5	3.8	.1	.7	.0	.4	1.8	.0	1.7		.1	.4	.1				
	東海	.0	.8	.7	3.1	.5	.9	.4	.8	.0	.3	.0	.9	.5		.1	.2					
近畿	.0	.1	.7	2.8	.5	.7	.2	.8	.0	.2	.9	.0	.8		.1	.4						
中国四国	.0	.1	.6	3.4	.5	.5	.2	.8	.0	.3	1.0	1.6		.1	.2	.0						
九州沖縄	.0	.1	.6	4.4	.6	.7	.2	.9	.0	.4	1.2	1.6	.0	.0	.3							

(2006.9.21集計)

38週	愛媛県	.0	.1	1.0	2.5	.8	1.1	.1	.9		.2	.6	3.6			.3					
	近畿県	香川県		.4	.4	2.5	.7	.3	.1	.5		.1	.8	2.0							
		徳島県	.1	.3	.8	1.1	.8	.2	.8	.4		.1	1.5								
		高知県		1.2	.3	3.0	.4	.6	.0	.8		.5	.4	1.7			.1				
	全国	.0	.0	.4	.7	2.5	.5	1.0	.3	.6	.0	.0	.3	.0	.9	.0	.1	.4	.0		
	北海道		.2	1.5	1.0	.5	1.6	.1	.4		.0	.4	.7	.4							
	東北	.0	.3	.9	1.9	.5	1.0	.3	.6	.0	.5	.0	.8	.5			.5	.0			
	関東	.0	.3	.7	2.2	.5	1.0	.3	.6	.0	.2	.5	.0	1.3	.0	.1	.4	.0			
	甲信越北陸	.0	.6	.8	2.5	.5	3.0	.2	.5		.3	1.7	1.1		.1	.5	.0				
	東海	.0	.6	.6	2.6	.4	1.0	.5	.7	.0	.2	.7	.0	.5		.4					
近畿	.0	.3	.6	2.4	.4	.6	.2	.6	.0	.2	.7	.7		.1	.4						
中国四国	.0	.4	.6	3.2	.5	.3	.2	.7	.0	.2	.8	1.3	.0	.0	.3						
九州沖縄	.0	.5	.6	3.6	.5	.7	.2	.6	.0	.2	.9	1.2	.1	.1	.3						

(2006.9.28集計)

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。

全国 全数把握感染症 第37、38週 (2006.9.11 ~ 9.24)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																					
	疾病名	(2) コレラ	(3) 細菌性赤痢	(5) 腸チフス		(6) パラチフス	(1) 腸管出血性大腸菌感染症	(1) E型肝炎 (ウエストナイル脳炎を含む)	(2) ウエストナイル熱	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(8) Q熱	(11) コクシジオイデス症	(15) つつが虫病	(16) デング熱	(18) 日本紅斑熱	(19) 日本脳炎	(22) ブルセラ症	(23) 発しんチフス	(24) ボツリヌス症	(25) マラリア	(26) 野兔病	(27) ライム病	(29) レジオネラ症	(30) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) 黄色ブドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌感染症		
第37・38週報告数	全 国	1	22	1	1	203			6	1				1		6								20	3	18	5	1	3	1	26					12	4		3			
	四 国	愛媛県															2								1																	
		香川県																																								
		徳島県					13										1												1													
		高知県					1																																			
	ブ ロ ッ ク 別	北海道					2			1																				1								1				
		東北		1			33																		1		2	1										1	1			
		関東	1	6	1		29								1										7	1	2	1				9					2	1		2		
		甲信越		9			18		1																3							2					2					
		東海					30																		4		4					3					3	1		1		
		近畿		5		1	22			5								1							1	1	5	1			6					3			3			
中国四国						26											3							1		2	1			1												
九州沖縄		1			43											2							3	1	3	1	3	1		5							1					
週 推 移	全 国		14			96		2								2								12	1	9	2		2		11					6	1		1			
	37週	1	8	1	1	107		4	1				1		4								8	2	9	3		1	1	1	15					6	3		2			
	36週	1	11	1	1	158		13		1					2	1				1			12	4	5	1	1	1	4	1	13		1			4	2		1			
	35週	2	12		1	257	1	6					1	1	3	1			5		2		6	1	8	3		3	1	20	2				8	4						
2006年累積数	全 国	40	344	54	19	3002	53		275	17	16	1	1	176	38	26	1	3		1	47		8	364	10	551	188	125	11	123	88	937	64	11		448	84		52			
	四 国	愛媛県		5	2		14		4					1		7									2		4	3	1	1	2		6			3	1					
		香川県					11		1		2	1													3		2		1		1	3				6						
		徳島県					40		1																	3				1						3	1					
		高知県		2	1		3		2								2	1				2				1	2	1				3				23	1					
	ブ ロ ッ ク 別	北海道		2			54	15	13	16					1			1						2	8	15	4	5	2	7	6	22	1			8	3					
		東北	1	9			283	2	9		2			100							4				20	18	15	4		6	4	28		1		31	2		4			
		関東	20	136	33	13	691	15	51		5		1	8	22			1		23		2	116	4	259	47	44	6	34	30	485	33	5		140	26		21				
		甲信越	7	30	3	1	260	5	22		1			41	2			1		4		2	49		12	16	9	1	16	5	39	2	1		15	7		4				
		東海	4	28	5	2	365	3	30	1	2			4	6					4		2	57		64	24	14		12	14	105	2	1		48	7		9				
近畿		2	101	7	3	503	4	88		4			2	2	4				1	7			59	2	135	50	17	1	17	21	183	17	1		59	6		6				
中国四国	3	12	3		320	3	35		2	1		10	1	11	1			3				31		23	17	16	1	17	6	34	3		52	11		3						
九州沖縄	3	26	3		526	6	27					11	4	11				2					24	4	25	15	16		14	2	41	6	2		95	22		5				

医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.9.28集計)